



日本フォレンジック看護学会

次回（第8回）学術集会のお知らせ

## 『性暴力社会を変える・生き抜く』 in Osaka 2021

---

大 会 長 鈴井江三子 大手前大学国際看護学部（学部長・教授）  
企画・実行委員長 藤井ひろみ 大手前大学国際看護学部（教授）

日 程：2021年8月28日（土）～8月29日（日）

会 場：大手前大学 大阪大手前キャンパス

〒540-0008 大阪府中央区大手前 2-1-88

### 開 催 趣 旨

性暴力、なかでも強制性交等罪は「魂の殺人」とも言われ、被害者は長期にわたるフラッシュバックに悩まされ苦悩と葛藤の人生を背負うこととなります。また、被害者が子どもの場合、加害者が身近な顔見知りである場合が多く、されている意味が分からず、被害はより深刻で、被害児童となった子どもたちは行き場のない怒りを自傷行為や他者への暴力として爆発させ、犯罪・加害へと向かうことも珍しくありません。

人間の人生を壊滅的に破壊する暴力社会を変えたいという強い気持ちを共有し、被害者に寄り添うにはどういった関わりがあるのかを、皆様と一緒に考えたいと思います。

日本フォレンジック看護学会 第8回学術集会では、性暴力被害を受けた女子受刑者の実態とケアへの課題を提起し、ホリスティックな支援に向けた多職種連携の可能性を探求したいと思っております。

### <プログラム>

大会長講演：女子受刑者支援に至った研究の軌跡

招聘講演：女子受刑者のトラウマケアと職業訓練

教育講演：法医学から見える格差と貧困

シンポジウム：女子受刑者へのホリスティックかつ持続可能な支援の構築